

精神障がい者家族間の支援者養成研修会

平成31年1月25日午後1時より吉塚合同庁舎にて、ピアサポートの養成及び推進の研修会を開催しました。第1部の講演では西九州大学 橋本准教授にテーマ「相談援助の理論と方法」と題してお話しを頂きました。その中で特に強調されたのは、相談者の話しを聞くことの重要性です。8対2なっていますか？

参加者の声として、これまでの経験と今回の理論が結びつき楽しかった/今まで不安に思っていたことが解消でき、更に意欲が出てきた/ストレッチングス(力・勢い・強さ)が大切、これまでの経験を通して語彙力を高めて行きたいなどの声がありました。

講演後の第2部では参加者が6つのグループに分かれ、電話や面接での相談活動内容を中心に討議を行いました。



【平成30年度第3回家族・職員向け研修会を終えて】

2月22日(金)福岡市「あいれふ」で開催された研修会に参加しました。研修会第一部として福祉新聞の記者である福田氏による講義「2019年からの福祉の展開・展望」、第二部として、事業所部会の方々から『助成金の活用』及び『平成31年度の報酬改定』の話がありました。

第一部の講演会は新聞記者としての視点から感じる今後の動向や取材をしていく中で実際に感じた事等の話を聞け、いつもとは違った切り口からの話であり大変参考になりました。ダイバーシティ※が重要視される昨今の社会において、様々な視点からの話を聞くという事はとても大切な事であり、自身のスキルアップにもつながるのでは、と感じました。また、第二部の話しも事業所を運営していく上で、大変貴重な話しであり、今後の事業所運営に上手く反映させ、職員や利用者の方々がよりよく活躍できるようにしていければと思います。その為にも、福田氏が言っておられた、アクセシビリティ(利用しやすさ)を障害福祉サービス事業所として高めていければと思っています。



※ダイバーシティとは、多様な人材を積極的に活用しようという考え方のこと。

社会福祉法人あかつき会 コラボ北九州企救丘

管理者 水野 孝之



事業所部会主催にて打合せ中

作業所・事業所紹介

社会福祉法人 福

就労継続支援B型 アトリエのぞみ

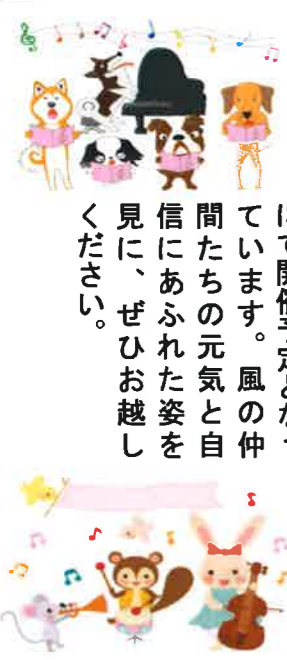
理事長 藤 みよ子

平成8年にアトリエのぞみは、保健所の皆さんの大きな支援と家族会の思いによって、中央区として最初の共同作業所として生まれました。障害者福祉に関わる法律の改正などにより小規模授産施設になり、現在では就労継続支援B型事業所としての障害や発達障害をもつ方々の支援を行っています。アトリエのぞみが大切にしていることは大きく4つあります。



- ①「利用者のニーズや夢、体調、余裕」
- ②「就労目的だけでなく、生きている実感を味わう」
- ③「自分のペースで(あわてない、急ぎすぎない)」
- ④「風の仲間たちコンサートを通じて一人でも多くの人の理解・協力を」

法律や制度が変わっていても、以上のことを大切に常に意識しつつ、支援や活動に取り組んでいます。2019年で風の仲間たちコンサートは20回を迎えます。秋頃に「福岡市民福祉プラザ大ホール」にて開催予定となつていきます。風の仲間たちの元気と自信にあふれた姿を見に、ぜひお越しください。



NPO法人レッツグループホームオークマ

管理者 馬場由紀子

福岡市東区馬出に、定員6人と4人、サテライト1人の3ヶ所計11人が利用されているグループホームです。周囲は近くに、ゆめタウンやマックスパリュウなど商業施設が多数あり、バス、地下鉄、JRの駅も近く、住むのに便利な場所です。



栄養士と世話人が工夫を凝らしたおいしい食事を食べて、皆さん元気に過ごしておられます。グループホームでは、年間行事として、外に出かけるのは、外食、みんなの集い、スポーツ大会、宮崎放生会で、内部では、健康学習会や調理実習、クリスマス会等を行っています。生活面では利用者の皆さんが食事の配膳当番や施設内外の環境整備を分担しています。グループホームを開設して、まもなく10年目になります。昨年12月のクリスマス会では、「ダ パンプ」の「USA」替え歌を理事長が歌と踊りで披露しました。



「カーモンベイベー オークマ」この十年間の関係(リレーションシップ)だいが変化しようだけれども僕らは仲間達 同じ住まの旅人さ。このように皆で何とか楽しく、過ごしています。



特定非営利活動法人 ホモレ日 就労継続支援B型 カフェヒュッテ

施設長 武田 聡

カフェヒュッテは、平成27年4月に筑紫地区では数少ないカフェ型の事業所として、大野城市下大利に開所しました。最大13名と小さなカフェです。4年目を迎え、ようやく地域の皆様に周知してもらえる店となりつつあります。



カフェでは、ドライカレーやサンドイッチ、曜日替わりのランチなどの軽食、九州産小麦や北海道バター等のこだわりの材料を使用した焼菓子、淹れたてのコーヒーなどを提供しており、すべて利用者と職員が一緒に製造・調理、販売を行っています。作っている商品はカフェヒュッテのロゴやインスタグラムにも投稿していきますので是非ご覧ください。



カフェヒュッテのモットーは、「下大利にあるひとつのカフェ、気軽に立ち寄ってもらえるカフェであること」。何気なく立ち寄って下さるお客様が普通にお食事や購入をして頂けるよう、商品や雰囲気などをみんなで創り上げていくことで、近隣の商店や地域の方々との交流が増え、色々なイベントなどにも出店させて頂いています。より魅力のある店づくりをみんなで行い、自然に地域に溶け込み、少しでも利用者への還元を増やしていきたいと思っています。



「夜明け前」映画上映会

主催：福精連
共催：きょうされん福岡支部

100年前に「私宅監置」の実態を調査し、精神障がい者に対する日本社会の在り方を批判した呉秀三のドキュメンタリー映会上映会を3月5日(火)春日市クローバープラザで開催しました。上映会は第1部映画上映、第2部前半はきょうされん副支部長・古賀知夫氏より「なぜ今、呉秀三なのか」後半は福精連会長・一木猛より「福精連の意義と今後の活動」と題して講演会を開催しました。主催共催関係以外の方に多く参加頂き178名の参加がありました。当該内容の関心の高さが窺われます。私宅監置、身体拘束が認められていた日本。精神科医でも疑問視する人は少なかった日本で呉秀三は「人を人として扱う」このような基本的なことを訴え続けました。100年を経た現代でも精神病に対する偏見や誤解、差別がなくなる事はありません。また、現代までに様々な変革があった精神科医療ですが、身体拘束に関しても残念ながら増えているのが状況。呉秀三が今の日本を見て何を思うのか。「病という不幸にこの国に生まれた二重の不幸」と言われぬ時代は来るのだろうか。本映画を通じて多くの方に福祉医療の現状を知って頂き、一歩でも前進するきっかけとなって欲しいものです。



QSK 福精連

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会
〒812-0046
福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50
電話092-292-0560 FAX092-292-0561
e-mail:info@fukuseiren.com
ホームページ http://www.fukuseiren.com/
No. 96 平成31年4月1日

みんなねつと九州・熊本大会

【平成31年2月7日(水)〜8日(金)】

みんなねつと(全国精神保健福祉会連合会)九州ブロック熊本大会が熊本市のKKRホテル熊本で開催されました。

「家族の負担軽減に向け、支援制度の実現をめざそう!」をテーマに、九州各地から四〇〇名、福岡から九十六名の方に参加頂きました。「大会式典」に続く、「みんなねつと活動報告」で三つのビジョンが示された中、特にみんなねつとの運営の力を握る賛助会員拡大強化が喫緊の課題です。

続く講演では、「災害と障害」をテーマに熊本学園大学の東教授より、「災害と人権」「熊本地震における障害者の状況・そこから見える課題」が話されました。災害時の障がい者の死亡率は一般の方の2倍と言われています。現代は近隣住民との関りが希薄になっており、特に精神障がい者は孤立しがちです。また、地震後の避難所で障がい者が集団生活を行うには様々な社会的障壁が存在します。日頃から災害時の対応策、避難生活を行える場所の確保等、話し合い・準備が必要だと感じました。

記念講演は「統合失調症療養者の親が経験した困難と支援」をテーマに佛教大学 田野中講師が、1 統合失調症療養者の親の経験 2 家族が必要とする支援 3 家族それぞれの思い から話されました。その中でも、親自身の真の多様性を支える支援を必要としていると話され、今の自分の時間配分(気持ち)と、できればやりたい時間配分を考える機会がありました。

「いくつもの時間 哲学者 鷲田清一」

一つの時間を生きる、あるいは一つの時間しか生きられないというものは、人間が生きていく上で苦しいこと。豊かに生きることは、それぞれの時間に悲鳴をあげさせないこと。どれか一つの時間が別の時間に無理をかけるのはしんどいこと。時間はいくつも持つことで落ち着くことができる。あなたの時間は?

福岡こどもとパートナーの会

世話人 金子 勇人

3月9日(土) 第3回「親が心の病をもつ子どもとの交流会」を10時より開催し、5名の参加がありました。午後からの「パートナーの交流会」は7名の参加です。今回の参加者の中には支援者からの紹介もあり、この交流会の認知度が高まってきたのかなと思います。また、親子それぞれの立場で参加した方もありグループの役割(家族まるごと交流)が果たせて来たのかな、と感じた一日でした。スタッフも3名で運営して行けそうです。7月20日には九州ブロック交流会を予定しています。

【一木会長が福祉新聞社 福田記者より取材を!!】

平成31年2月22日の家族職員研修会の講師として来福された折に、今回の西鉄の電車とバスの割引後の状況を取材したいと申し出があり、会長より平成15年10月県知事への要望や顧問県議団の結成等々、14年余りの長い歲月の中でようやく実現できたことを訴えました。

割引後の当事者の利用は、昨年実施した利用アンケートにあるように、利用回数が着実に増えていることは喜ばしいことです。更に西鉄側の乗り合いバスの実績を見ると輸送人員や運賃収入面で、交渉時に西鉄が懸念していた減収の実態は見られず、むしろ増加しています。今後JR九州や高速道路の関係機関の英断を期待いたします。



行事案内

【第1回理事会】
平成31年5月9日(木)
時間:15時00分 場所:吉塚

【第2回理事会/通常(決算)総会】
平成31年5月24日(金)
時間:10時30分/13時30分 場所:吉塚

【第1回事業所部会】
平成31年6月21日(金)
時間:10時30分/13時30分 場所:吉塚

【第1回運営委員会】
平成31年7月19日(金)
時間:15時00分 場所:吉塚

【第2回家族・職員研修会】
平成31年7月21日(日)
時間:10時00分 場所:吉塚

【第3回福精連大会】
平成31年9月13日(金)
場所:北九州市ウエル戸畑

月間「みんなねつと」を購読しませんか?

賛助会費(会費に購読料を含む)
個人 年間3,600円
※団体は一部還元があるのでお問い合わせを郵便振込先

加入者名 みんなねつと
口座番号 00130000338317
電話番号 0369079211

※賛助会員加入のお願い
年会費 個人 3千円・団体 1万円
郵便局振込先
加入者名 (公社) 福精連
口座番号 0176007184332
※付録にて賛助会員のお願いと
払込取扱票をつけております

平成30年度 家族電話相談集計

月	件数
H30. 4月	110
5月	107
6月	91
7月	72
8月	89
9月	77
10月	84
11月	70
12月	91
H31. 1月	106
2月	67
合計	964

平成30年2月末 合計964件 (昨年度 合計991件) ←前号訂正
【相談時間: 平日13時~16時】

- 月曜日 090(1366)7498
- 火曜日 080(2750)0646
- 第4水曜日 0940(33)2731
- 第4水曜日以外、木曜日 080(3986)1980
- 金曜日 080(4279)2970

※曜日ごとに各ブロックで電話相談を受け付けております。



次回の九州ブロック大会は、2020年1月30日(木)〜31日(金) 沖縄県那覇市パシフィックホテルでの開催です。真冬に暖かい沖縄へ行きましょう。

二日目メイン会場では、実践報告「運動(スポーツ)することがなぜいいのかわ」と題して熊本県益城病院 湯原体育療法士よりお話しがありました。障がい当事者の特徴や状態に合わせた方法で、「これはダメ」と言うのではなく、「こうしてみても？」と代替案を提案する方法が話され日々の生活に活かしていきたいと思いました。

その後5つの分科会に分かれ「家族会と地域福祉」「当事者活動の役割」「活力ある日中活動の場について」「親なき後を考える」等に別れて開催されました。福精連関係で第一分科会に一木会長、第三分科会に事業所部会の村上所長が登場しました。



- ### 平成三十一年度賛助会員のみなさま
- 〈個人会員〉(敬称略・順不同)
- 樋口 須末山藤君士横福田石川小富舟宮西樋藤一
 - 口木 藤安邊口 嶋肥清田原田本野田越崎 口島木
 - 靖猛 鉄良尋由美浩泰清恭健茂雄義洋富好靖美猛
 - 則 宣光志紀二智 博隆子治子史之 夫 則美子
 - 隅本 乙富安山金古齊福普野坂徳江金杏永篠小白本
 - 谷田 村永部口子田藤場野澤栗久里子脱末原池石田
 - 和俊 未貴詔隆勇一光喜康重と照 義信雄桂邦雄俊
 - 生慧 沙美一充人恵子儀子信つ道充郎行大子弘二慧
 - 貴子 貴子
 - 白石 須入倉亀小石森岩大伊櫛佐立阿田廣初六内
 - 雄敏 藤江知田川河 井堂福橋々木部川津井反原
 - 二裕 正真証明藤定一隆園深恭 利利裕輝達敏守
 - 明佐 明佐 明佐 明佐 明佐 明佐 明佐 明佐 明佐
- 30年度も多くの皆様からご協力頂き、誠にありがとうございました。(団体25箇所、個人59名)

【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F
【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0054 福岡市東区馬出2-2-18
【年会費】3,000円(購読料含む) 定価100円

この機関紙【福精連】は、共同募金の分配金によって作成されたものです。